



2018

帰国子女募集

新入学

編入学

昌平中学・高等学校



国際バカロレア[MYP]認定校 埼玉県初





手をかけ
鍛えて
送り出す



■ 帰国生への教育について

海外体験を通して育った長所を、更に伸ばす指導を行います。

帰国生にとって重要なことは、せっかく身につけた英語力を衰えさせないこと、海外での教育と日本での教育の違いから帰国後補わなくてはならない教科の手当てをしてもらえることです。本校には自分自身も帰国生である経験を持つ教員もおり、その経験を活かして帰国生への教育を行っています。また、本校教育の中心的な存在である「パワー・イングリッシュ・プロジェクト」の推進と、国際交流を通じての異文化理解や語学教育の遂行において、海外経験が豊富な帰国生が与えてくれる刺激は重要な存在です。国内生と帰国生が共に高めあえる教育環境を本校は提供します。

① 英語教育

海外生活で習得した英語力を更に伸ばすために、英語の授業の一部はネイティブ教員などによる帰国生対象の少人数授業を行います。一方帰国生が日本の大学入試問題にしっかり対応できるように、英文法の授業は国内生と共に入試問題対策まで指導します。

② 英会話

インターナショナル・アリーナ(日本語禁止部屋)には、3人のネイティブ教員が常駐しています。どの先生もフレンドリーで、休み時間や放課後などいつでも交流ができます。またネイティブ教員の出身国がアメリカ・カナダ・ニュージーランドとばらばらなため、それぞれの国の英語の違いも知ることができます。

③ 国語・数学・理科・社会

国語・数学は習熟状況に応じて取り出し授業などを行い、学習進度を国内生に合わせていきます。理科・社会は十分に理解できない生徒に補習授業を行っています。入学前から④に示すインターネット学習教材によって可能な限り学習進度を合わせられるように努力させています。



姉妹校スコッツスクールでの交流



本校に在籍している帰国生の人数 平成28年度(平成29年3月1日現在)

合計 32名 (男11名 女21名)	中学合計 13名			高校合計 19名		
	中1 6名 男2/女4	中2 4名 男3/女1	中3 3名 男1/女2	高1 6名 男2/女4	高2 10名 男3/女7	高3 3名 男0/女3
帰国前の 在住国 (合計 32名)	アメリカ	マレーシア	ドイツ	スペイン	中国	イギリス
	16名	3名	2名	2名	2名	1名
	イラン	インドネシア	カンボジア	シンガポール	台湾	メキシコ
	1名	1名	1名	1名	1名	1名

④ スタディサプリ

インターネット配信によって受講できる完全個別対応の映像学習システムを導入しています。大学受験対策講座から弱点補習講座まで、学習ニーズに合う講座を選択できます。帰国生が学習進度を合わせるために自学する教材として最適です。また、やむを得ず欠席してしまった授業の補習や、先取り学習、いまさらちょっと聞きにくい内容の確認等に使い、何度でも納得のいくまで学習できます。

⑤ 国際交流

「パワー・イングリッシュ・プロジェクト」の一貫として、国際交流を積極的に行っています。中学校3年生全員でニュージーランドにファームステイし、高校2年生全員でカナダにホームステイします。また、中学・高校の希望者を対象としてオーストラリアの姉妹校へ語学研修ホームステイに行きます。逆に姉妹校から本校に来た生徒をホストファミリーとして受け入れることも可能です。

⑥ 共に高め合う

帰国生も国内生と同じ学級に入ります。帰国生と国内生が共に刺激しあい、切磋琢磨して高めあえる教育環境を作っています。例えばイングリッシュスピーチコンテスト(中学はレシテーションコンテスト)を帰国生と国内生の隔てなく実施し競い合わせます。優勝者が帰国生と限りませんのでお互いに高めあっている実例といえるでしょう。また、学級活動や部活動、学校行事などを国内生と行うことは、帰国生が海外とは違う教育を理解し、国内生は帰国生が経験した教育を理解する重要な活動となります。

■ メッセージ

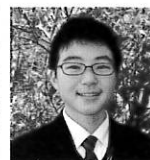
昌平はネイティブの先生による取り出し授業があり、帰国生の英語力の維持と向上を重視してくれまます。インターナショナル・アリーナ(日本語禁止部屋)には、アメリカ、カナダ、ニュージーランド出身のネイティブの先生が3人常駐して、いつでも本場の英会話が出来ます。また、英検取得にも積極的に取り組む学校で先生方がサポートしてくれます。



中2 市毛 綾乃さん(イギリス・ロンドン)

●プロフィール 小学2年生からイギリスのロンドンに5年間在住。現地校に通い英語力をつけた。昌平中高が英語教育に力を入れていることから入学を決意。現在は得意の英語を伸ばし英検準1級取得を目指している。また、昌平入学後に興味を持ち始めた歴史の勉強が今の楽しみ。

昌平は今まで身につけてきた英語力を継続させるのにとっても適した環境が整っています。日本語禁止部屋には外国人の先生もいて、昼休みや放課後などに行けば楽しく英会話ができます。昌平では文化祭や体育祭、球技大会など色々な行事があります。みんな学習と行事でだけじゃなく生活している中で、これらの行事に取り組む集中力はすごいです。



中2 山中 颯人君(アメリカ・ミシガン州)

●プロフィール 小学2年生からアメリカのミシガン州に4年、メキシコのアグスカリエンテス州に半年在住。海外で身につけた英語力を維持させるために昌平に入学。現在、英検準1級取得に向けて勉強している。生徒会活動に積極的に生徒会会計を務めている。

本校の特色

「手をかけ 鍛えて 送り出す」の教職員モットーのもと、「学力」と「人間力」を両立させながら育成します。

本校では「生徒が主役」です。教職員は生徒にいかにも多くの成功体験を持たせ、達成感を味あわせるかを常に考えています。学習・部活動・文化活動・学校行事など、様々な場面で生徒一人ひとりに活躍の場を与え、成功に導くことが教職員の使命です。



「Power English Project」英語力超強化プロジェクトを全校生徒対象に推進しています。

国際化が進む現代社会において、語学の習得は不可欠です。世界に通用する英語力と国際感覚を養い、「英語の勉強は大学に合格するためだけではなく、世界へ羽ばたくために必要なことである」ことを生徒に実感させています。英語教諭だけでなく、担任が率先して学級の英語力を向上させる工夫をします。全校生徒を対象に全教職員が一丸となって取り組むプロジェクトです。

①英語の授業時間の充実

各学年英会話を含めて、中学で週6〜7時間、高校で7〜10時間を英語の授業に割り当てています。

②英検、GTECの全員受験

全校生徒が英検とGTECを必ず受験します。英検1次合格者には2次対策担当英語教諭が指名されます。

③TOEICやTOEIC Bridge、TEAPへの積極的受験

英検の他にも英語力を確認する様々な検定に積極的にチャレンジさせます。

④インターナショナル・アリーナ(日本語禁止部屋)の設置

3名のネイティブ教員が常駐し、いつでも楽しみながら英会話を学べます。



⑤全校イングリッシュ・スピーチ・レシテーションコンテスト

高校生はスピーチコンテスト、中学生はレシテーションコンテスト、いずれもハイレベルな戦いです。



⑥ボキャブラリーコンテスト

全校一斉に年3回実施し、それぞれの学年でクラス対抗意識を持って英語ボキャブラリー力を競い合います。

⑦ブリティッシュヒルズ宿泊語学研修(中1・中2全員及び希望者)

福島県にある公用語は英語という施設。食堂・売店も英語、語学研修授業は全てネイティブが行います。



⑧オーストラリア語学研修(希望者)

姉妹校へ通いホームステイを体験します。学んだ英語がどれだけ通用するか実践でき一層語学力がつきます。希望者全員が参加可能な約2週間のプログラムと、希望者から選ばれた生徒が参加できる約2ヶ月のプログラムがあります。いずれも一人が一家に滞在します。また、姉妹校から本校に来る生徒をホストファミリーとして受け入れることも可能で良い経験になります。



⑨[中3]ニュージーランド、[高2]カナダ修学旅行語学研修(全員)

中学生の修学旅行は南半球へ行き、ニュージーランドでファームステイを実施します。高等学校の修学旅行は北半球へ行き、カナダでホームステイを体験します。いずれもグループでの滞在ですが、その経験のインパクトが大きく、帰りの飛行機では「もっと英語を勉強しよう」という声が聞こえてきます。



私は昌平中学校に1年生の途中から編入学してきました。最初はとても不安でしたが、みんな優しく、今ではとても楽しく学校生活を過ごしています。英語の取り出し授業ではネイティブの先生とディスカッションをしたり、英検取得の勉強をしたりしています。将来は英語力を活かして国際的な職業に就くことを目標にしています。



中3 田中 美尊 さん(アメリカ・ニューヨーク州)

●プロフィール 小学校4年生からアメリカのニューヨーク州に3年間在住。中学1年生の2学期から昌平中学校へ編入。現在は英検1級合格に向けて勉強している。昌平でのIB教育で様々なことに興味を持ち学んでいる。また体を動かすことが好きでスポーツにも励んでいる。

昌平の生徒はみんな明るくて、とても活気があります。中学2年生の2学期に編入しましたが、友達を受け入れてくれてすぐに馴染むことができました。先生も色々と面倒を見てくれて昌平での生活にもすぐに慣れました。昌平中学での学習はIB教育を取り入れており、海外の学校で学んだ経験がある生徒にも馴染みやすく楽しいです。



中3 山元 志起 君(スペイン・バルセロナ)

●プロフィール 小学校からスペインのバルセロナに2年間在住。バルセロナ日本人学校に在籍し、語学力を伸ばしてくれる学校として昌平を選択し編入。将来はスペイン語、英語、日本語の3ヶ国語を操りグローバルに活躍する人間になることが目標。

昌平中高が英語教育に力を入れているので入学を決意しました。海外生活が長かった私は学校生活に馴染めるか心配でしたが、すぐに友達ができ、今は充実しています。将来の進路実現のために勉強は大変ですが、体育祭や文化祭、合唱コンクールなどの行事が楽しくて、めりめりある生活ができます。昌平に来て、一緒に良い思い出を沢山作りましょう。



高1 吉田 莉々 さん(イラン・テヘラン)

●プロフィール アメリカとイランに合計10年間在住。本校入学後も継続して英語を学習し、中学2年生の2学期に英検1級を取得した。将来は国際連合で働いて、世界中で初等教育を完全に普及させたいと思っている。夢を叶えるため、現在は中国語の勉強に励んでいる。

私は中学2年生の11月に編入学しました。昌平のみんながとても優しく接してくれたため、すぐに友達もできて、学校が楽しくなりました。今は、英語は勿論、他の教科も日本の授業形態に慣れて、昌平の授業内容もしっかり理解できるようになりました。帰国生を積極的に受け入れてくれる昌平で、中学・高校生活を楽しんでみませんか。



高1 寺井 瞳子 さん(アメリカ・イリノイ州)

●プロフィール 小学校6年生からアメリカのイリノイ州に2年6ヶ月在住。始めの1年はシカゴ日本人学校で過ごし、残りの1年半は現地校に通い英語力を向上させた。昌平中学校に編入してからは、日本の学習にも慣れ意欲的に学び、英検準1級取得が直近の目標。

中学校

junior high school

『グローバル 人材育成プログラム』

①IB[MYP](国際バカロレア[ミドルイヤーズ プログラム])認定校 埼玉初

IBは国際バカロレア機構の全人教育プログラムです。IBの理念に共鳴する本校は、国際バカロレアによる審査を経て、中等教育プログラム(MYP)の認定校となりました。このプログラムの導入により、人間力のある真の国際人の育成を目指します。



国際バカロレアとは

International Baccalaureate Middle Years Programme

国際バカロレア機構(本部スイス・ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムです。世界基準で研究されてきた教育システムであり、全人教育プログラムです。世界中で約5,000校がIB教育を実践しており、2016年時点で国内には39校の認定校(MYPは11校)があります。そして、文部科学省はIB認定校の増加を目標に掲げていますので現在も増え続けています。IBのプログラムは、生徒の年齢に応じて三つのプログラムに分かれています。MYPは11歳~16歳までを対象としており、これまでの学習と社会のつながりを生徒が学ぶプログラムです。昌平中学校では1年生から3年生の全員を対象に、MYPの授業を日本語で行っています。IBおよびIBのプログラムの詳細については、ウェブサイト(<http://www.ibo.org>)をご覧ください。



②スペシャル・ウェンズデイ

水曜日は新たな発見と感動の日「スペシャル・ウェンズデイ」です。学期に1回または2回、水曜日の午後または終日を使って大学研究室訪問、大使館訪問、博物館見学など多彩な体験学習を通して、今後の学習意欲に繋がる貴重な経験をさせます。



外務省訪問



セルビア大使館訪問

③プロジェクト学習

机上の学習では得られない感動を与えるとともに「調べる」「まとめる」「発表する」「考察する」といった学問の基本となる姿勢を身につけさせます。世界をテーマに中学校の3年間を通じて取り組んでいきます。生徒が世界中の様々な問題に気付き、正解が一つとは言えない課題に取り組み議論しまとめていきます。この学習を通じて事象を多面的に捉える重要性に気付き、グローバルな視点から広い視野で物事を見る目が育ちます。また教科学習への興味関心も育ち、学問に対するモチベーションが芽生え、自立した学習者の育成に繋がります。

高等学校

high school

『文武両道』

①目標は「全員が第一志望大学に合格」

それぞれの進学目標を達成できるようにコース・クラスタイプは6種類あります。

特別進学コース

T特選クラス

最難関国公立大学、国公立大学医学部を目指す

特進アスリートクラス

国公立大学、難関私立大学を目指しながら、部活動で全国を目指す

特選クラス

難関国公立大学、難関私立大学を目指す

特進クラス

国公立大学、難関私立大学を目指す

標準進学コース

選抜アスリートクラス

G-MARCHを目指しながら部活動で全国を目指す

選抜クラス

G-MARCHを目指す

●平成29年 大学合格実績 (平成29年3月29日現在)

東京大学(2名)・京都大学合格
~3年連続 東京大学合格~

東京工業大学・一橋大学・お茶の水女子大学・筑波大学(2名)合格

■国公立大学 **52名合格 (現役45名)**

東京大学 2[1]、京都大学 1[1]、東京工業大学 1[1]、一橋大学 1[1]、お茶の水女子大学 1[1]、筑波大学 2[2]、千葉大学 3[3]、埼玉大学 5[4]、首都大学東京 2[2]、東京学芸大学 1[1]、東京海洋大学 2[2]、横浜国立大学 2[1]、宇都宮大学 6[5]、群馬大学 3[3]、茨城大学 2[1]、長崎大学 1[1]、熊本大学 1[1]、佐賀大学 1[1]、福島大学 1[1]、前橋工科大学 2[2]、帯広畜産大学 1[1]、高崎経済大学 3[2]、埼玉県立大学 2[1]、新潟県立大学 1[1]、群馬県立女子大学 1[1]、千葉県立保健医療大学 1[1]、防衛大学校 1[1]、国立看護大学校 2[2]

■早慶上理 **64名合格 (現役60名)**

早稲田大学 11[8]、慶應義塾大学 4[4]、上智大学 4[4]、東京理科大学 45[44]

■G-MARCH **131名合格 (現役122名)**

学習院大学 13[10]、明治大学 42[41]、青山学院大学 11[10]、立教大学 17[16]、中央大学 11[11]、法政大学 37[34]

[]内は現役合格者数

帰国生の主な合格大学 (過去4年※)

大学名	人数	学部名	人数
一橋大学	1	社会学部	1
埼玉大学	1	経済学部	1
都留文科大学	1	文学部	1
早稲田大学	4	国際教養学部	2
		政治経済学部	1
		文化構想学部	1
慶應義塾大学	1	商学部	1
上智大学	5	外国語学部	4
		経済学部	1
学習院大学	2	文学部	1
		経済学部	1
明治大学	5	国際日本学部	1
		政治経済学部	4
青山学院大学	1	文学部	1
立教大学	6	経済学部	4
		社会学部	1
		法学部	1
中央大学	3	経済学部	2
		総合政策学部	1
法政大学	2	グローバル教養学部	1
		経済学部	1
成蹊大学	1	経済学部	1
獨協大学	1	外国語学部	1
國學院大学	1	経済学部	1
日本大学	1	国際教養学部	1
東洋大学	4	ライフデザイン学部	2
		生命科学部	2
駒澤大学	3	経済学部	1
		法学部	2

※帰国子女募集で入学・編入した生徒が、初めて卒業した4年前からの集計です。

②全国レベルの部活動

部活動は37部(運動部17、文化部20)あります。勝つことだけが目標ではなく、友と一つの目標を共有すること、楽しむことも部活動の魅力です。

●高校部活動の実績 (過去3年間の実績)

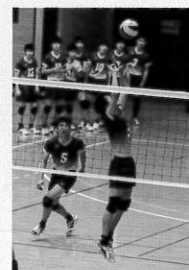
- ◇サッカー部(男子)
 - ・Jリーグ-2名輩出 (J1 サンフレッチェ広島・J1 ジュビロ磐田)
 - ・全国高等学校総合体育大会 第3位
 - ・全国高校サッカー選手権大会 出場
- ◇陸上競技部(男子)
 - ・全国高等学校総合体育大会 出場
- ◇陸上競技部(女子)
 - ・全国高等学校総合体育大会 出場
 - ・全国高校駅伝埼玉県予選 準優勝
- ◇バスケットボール部(男子)
 - ・全国高等学校総合体育大会 出場

- ◇ラグビー部
 - ・全国高校ラグビー大会埼玉県予選 準優勝
- ◇バレーボール部(男子)
 - ・埼玉県高校新人大会 優勝
- ◇硬式テニス部(男子)
 - ・全国高等学校総合体育大会 出場
- ◇ソフトテニス部(女子)
 - ・全国高等学校総合体育大会 出場
- ◇剣道部
 - ・関東高等学校剣道大会 出場
- ◇パソコン部
 - ・全国パソコン技能競技大会 出場
- ◇書道部
 - ・全国高等学校総合文化祭 出場



Jリーグ-2名輩出

左:針谷(J1 ジュビロ磐田)
右:松本(J1 サンフレッチェ広島)



男子バレー部 埼玉県 初優勝

Q&A よくあるご質問

Q 帰国生に対する入学後のクラス配置・授業体制は、国内生と異なっていますか。

A 帰国生専用クラスは本校にはありませんので、一般の生徒と同じクラスに所属します。これは、学校行事やホームルーム活動を国内生と一緒に行うことで、本校での日常生活の基盤をしっかりとつくとらうためです。授業体制ですが、国内生と同じ授業を受講することが基本となります。しかし、帰国生は教科・科目によって習熟度が国内生と異なりますので、著しく差が生じる場合は、取り出し授業や個別補習授業を実施しています。例えば英語力の優れている帰国生へはネイティブによる取り出し授業を、日本語に不安がある帰国生へは国語の補習授業といった対応をとっています。



Q 帰国生に対する英語の授業は、国内生と異なっていますか。

A 帰国生の英語力に応じて対応しています。中学生の場合、国内生は基礎から学習しますので、帰国生の英語が堪能であれば国内生と同一授業では差が開き過ぎます。よって、英語力が優れている帰国中学生はネイティブによる取り出し授業を行います。高校英語の学習内容で文法は大学受験に必須です。帰国生で英語力が優れていても大学入試対策の文法となると別です。そこで、文法は国内生と一緒に、コミュニケーションはネイティブの取り出し授業で対応しています。帰国生は海外で英語を学ぶ機会に恵まれていましたが、帰国後はどうしてもその機会が少なくなり、せっかく取得した能力も月日と共に衰えていきます。リスニング力やスピーキング力は日々、欠かさずに練習することで防ぐことができ、また更なる伸長も可能となります。そのためにも出来る限り恵まれた環境に身を置くことが大切だと思います。本校では、帰国生に対して取り出し授業を行ったり、補習授業を行ったりすることで、帰国生の持っている能力を最大限に発揮させます。

Q 帰国生に対してキャッチアップとしての補習授業を行っていますか。

A 海外での学習内容と国内での学習内容は異なります。特に国語と数学については、日本人学校からの帰国生を除いて、国内生との習熟度の差が生じます。帰国生の英語力が優れていれば、英語の授業時間の一部をこれらの教科の補習授業とし、また不足があれば放課後に補習授業で補います。



英語の取り出し授業では、会話・記述・読解力にも力を入れ、英検や大学受験に向けてサポートしてもらえます。埼玉県高校英語スピーチコンテストに出場の際は、英語の先生やネイティブの先生がたくさん練習をみてくださり、金賞を受賞することができました。学校生活はイベントが目白押しで、勉強だけでなく楽しい時間を過ごせます。



高2 長瀬 立子 さん(アメリカン・インディアナ州)

●プロフィール 小学校4年生からアメリカのインディアナ州に2年10ヶ月在住。現地Klondike Elementary School Middle Schoolを経て、英語力を更に向上させてくる学校として昌平中学校へ入学。中3で英検準1級取得。現在、1級及びケンブリッジ英検を目指して学習している。

昌平高校の先生はとても親身に相談ののってくれます。ですから自分の長所を伸ばすことができ、逆に短所を理解して克服するために考える力も養えます。学習面だけでなく部活動指導も充実しているので、文武両道を実現する最適な環境が整っています。私はサッカー部員ですが、部活動で成果を出すこと、大学進学との両立を目指しています。



高2 古川 勇輝 君(スペイン・バルセロナ)

●プロフィール スペインのバルセロナに4年間在住。バルセロナ日本人学校に小4から中2まで在籍。現地サッカークラブチームに所属していたためスペイン語も話せる。英検準1級も取得し、今後の目標は更に英語を学ぶと共に、日本語、英語、スペイン語の次の言語習得。

昌平高校では、英語教育に力を入れており、交換留学・夏の語学研修、海外への修学旅行、日本語禁止部屋にネイティブが3人常駐など、本場の英語に触れる機会が沢山あります。英語力超強化プロジェクトを全先生が推進し、英語力が磨かれ得意になれる環境が揃っています。帰国生が活躍する場面もあり、帰国生と国内入学生が共に笑顔で生活できます。



高3 西田 光輝 君(アメリカ・ケンタッキー州)

●プロフィール 5歳から12歳までアメリカのケンタッキー州で現地校と補習校に通う。またアメリカ在住中から陸上競技を始め、高校進学後も続けながら大学進学を果たしたいと考え、昌平高校の特進アスリートへ入学。現在は英検1級取得を目指し、文武両道を実践している。

昌平高校は先生方がとにかく熱心で生徒一人ひとりと親身向き合ってくれます。そのおかげで得意な英語を更に伸ばすことができ、英検準1級に合格しました。生徒が生き生きしている明るい雰囲気のある学校なので、沢山の友人が作れて日々刺激を受けることが出来ます。一生に一度しかない中学3年間・高校3年間を私達と一緒に過ごしませんか。



高3 大塚 桃花 さん(アメリカ・テキサス州)

●プロフィール アメリカのテキサス州に3年間在住。日本との文化や宗教などの違いを直に触れて国際的な視野を広げていった。英語力の維持、そして更なる向上のために昌平中学校に入学した。現在は生徒会副会長を務めている。将来は世界を舞台に活躍したいと考えている。



Q 入学した帰国生を指導する上でもっとも気を付けていることは何ですか。

A 帰国生、国内生ともにそれぞれの習慣の違いを理解させ、協調し合うように指導することです。帰国生の中には、海外で生まれ育ち初めて日本に帰国する生徒や、インターナショナルスクール出身者、現地校出身者など、日本の文化や習慣に触れる機会の少ない環境から本校に入学する生徒も少なくありません。生活習慣だけでなく、授業の受け方や学習方法もその違いは明らかですのでじっくり教えます。

Q 帰国生が貴校に入学するにあたって、事前にしつかり認識しておいて欲しいことは何ですか。

A 昌平中学・高等学校では国際教育を大切にしています。英語力を鍛えるためだけでなく、異文化を理解し共生していくことは、これからの世界で必要不可欠な能力となるでしょう。帰国生はすでにその経験をもっている生徒ですので、日本の教育や文化の違いを理解するとともに、海外で経験してきたことを本校のルール内で是非活かして欲しいと思います。

Q 帰国生が入学するにあたって、必ず喜んでもらえそうなことは何ですか。

A 本校では中学・高校を通じて「パワー・イングリッシュ・プロジェクト」を推進しています。ネイティブ3人が常駐しているインターナショナル・アリーナ(日本語禁止部屋)の設置や、英検をはじめとする各種英語力検定試験への積極的参加、海外または国内語学研修への多数の参加など、英語力が優れた帰国生には喜んでもらえるプログラムが多くあります。特に、オーストラリアの姉妹校の生徒をホストファミリーとして受け入れることは、帰国生に喜ばれています。また、中学校は埼玉県で初のIB(国際バカロレア)MYP認定校となり、IBプログラムを実践しています。海外の現地校やインターナショナルスクールからの帰国生にとっては、授業形態が大きく変わらず受け入れ易い授業の進め方となっています。



Q 帰国生に対しての具体的な受験準備のアドバイスをお願いします。

A 中学の帰国子女入試は、①英語・面接、②国語・算数・面接の2パターンから選択できます。英語は英検準2級程度の内容。国語・算数は小学校卒業までの内容です。英語受験の生徒への面接は、英語の質問に英語で答える場面もあります。例えば、海外での生活の様子やその経験をどのように役立てていきたいかなどです。高校の帰国子女入試は、英語・面接の1パターンのみです。英語の試験は英検2級レベル、面接は英語の質問に英語で答える場面もあります。編入学試験は、英語・数学・国語・面接で行います。合否判定は英語力を重視して行います。詳細は本校担当者へご質問ください。

帰国子女入学試験実施要項 (抜粋)



中・高編入学(中1~高3の8月)

1. 募集定員 若干名(男女)
2. 出願資格 次の(A)(B)ともに満たす者。
(A) 保護者の海外勤務に伴い、海外に継続して2年以上在住した者。
(B) 海外において、日本の中学校または高等学校全日制普通科に相当する教育機関に在籍する者。
3. 試験科目 国語・数学・英語、及び面接(本人のみ)
4. 募集時期 要相談

※出願に際しては、相談窓口(0480-34-3381 担当:村田)へご連絡ください。
募集要項・出願書類についてご説明いたします。

中学校新入学(4月・中1)

1. 募集定員 「Tクラス」「一般クラス」合わせて5名(男女)
〔Tクラス …… 東大、京大、医学部など最難関大学進学を目指す〕
〔一般クラス …… 国公立大学、難関私大進学を目指す〕
2. 出願資格 次の(A)(B)ともに満たす者。
(A) 保護者の海外勤務に伴い、海外に継続して2年以上在住し、帰国後3年以内の者。
(B) 国の内外を問わず、通常の課程による6年間の学校教育を修了、または2018年(平成30年)3月末までに修了見込みの者。
3. 試験科目 次の(A)または(B)の帰国生専用入試科目のいずれかを選択
(A) 英語(50分200点)・面接(本人のみ)
(B) 国語・算数(各40分・各100点)・面接(本人のみ)
4. 試験日時 平成29年12月22日(金)
5. 試験会場 本校
6. 合格発表 平成29年12月22日(金) 21:00(インターネット発表)

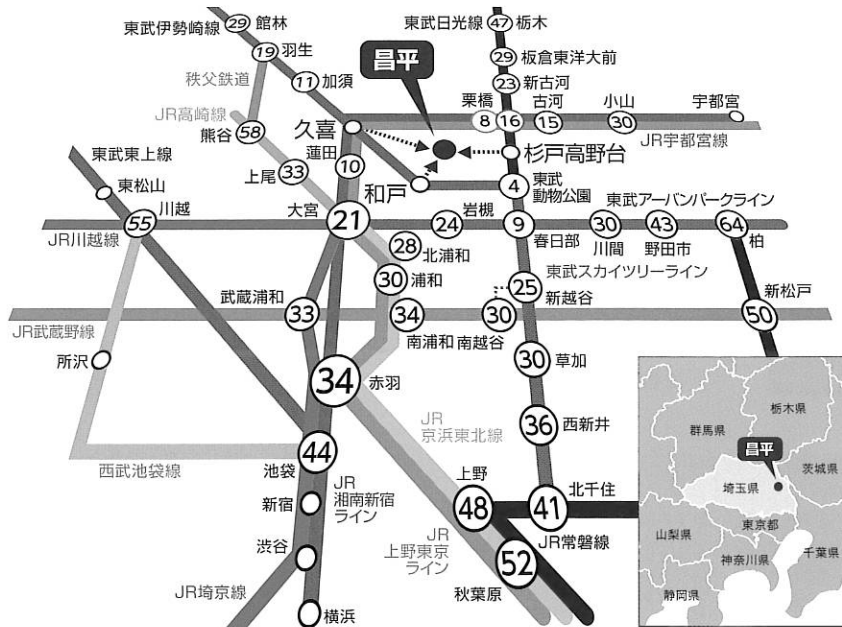
※内容変更の場合もあります。「帰国子女入試募集要項」を確認してください。

高等学校新入学(4月・高1)

1. 募集定員 全てのコース・クラスにおいて若干名(男女)
進路目標などにより下記の2コース、6タイプのクラスがあります。
特別進学コース…「T特選クラス」、「特選クラス」、
「特進アスリートクラス」、「特進クラス」
標準進学コース…「選抜アスリートクラス」、「選抜クラス」
2. 出願資格 次の(A)(B)ともに満たす者。
(A) 保護者の海外勤務に伴い、海外に継続して2年以上在住し、帰国後4年以内の者。
(B) 国の内外を問わず、通常の課程による9年間の学校教育を修了、または2018年(平成30年)3月末までに修了見込みの者。
3. 試験科目 英語(50分200点)・面接(本人のみ)
4. 試験日時 平成30年1月22日(月)
5. 試験会場 本校
6. 合格発表 平成30年1月23日(火)21:00(インターネット発表)

※内容変更の場合もあります。「帰国子女入試募集要項」を確認してください。

■ 広域アクセス 学校最寄り駅までの所要時間



■ 詳細マップ



昌平中学・高等学校

帰国子女募集係

〒345-0044 埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851 TEL:0480-34-3381 FAX:0480-34-9854
<http://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/>

